



題字 井口 文章
再刊 第222号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2017

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：第52回卒業式 卒業おめでとうごさいます
フットサル部、一部昇格&東京都選抜出場
二面：東京・埼玉の50校に聞く他校の携帯事情
進路講演会 卒業生に聞く受験のポイント

自ら進め、待ち受ける苦難も成長へ

第52回卒業式挙行

まだ寒さが残る3月の好天に恵まれた中、吹奏楽部の軽快なマーチと在校生や保護者の温かな拍手に迎えられ、第52回卒業式が行われた。総勢493名の卒業生が、各々未来への期待を胸に晴れて錦城高校を卒業した。



保護者や在校生の温かい拍手に送られ、未来への希望を胸に退場する52回生

卒業式を終えた52回生は、3年間で、阪元優香さん(3I)は自分が変わったという。先輩の校長先生である梶原先生の「出会いだけが人を変える」という言葉を3年生になつて実感し、自分自身も「すごく大切な人に出会えました」と嬉しそうに振り返った。最後に在校生に向けて「見据えることは大切だけど、見据えすぎると大変。目の前にあるものを大切にしてほしいです」と語った。

卒業式を終えた52回生は、3年間で、阪元優香さん(3I)は自分が変わったという。先輩の校長先生である梶原先生の「出会いだけが人を変える」という言葉を3年生になつて実感し、自分自身も「すごく大切な人に出会えました」と嬉しそうに振り返った。最後に在校生に向けて「見据えることは大切だけど、見据えすぎると大変。目の前にあるものを大切にしてほしいです」と語った。

卒業式を終えた52回生は、3年間で、阪元優香さん(3I)は自分が変わったという。先輩の校長先生である梶原先生の「出会いだけが人を変える」という言葉を3年生になつて実感し、自分自身も「すごく大切な人に出会えました」と嬉しそうに振り返った。最後に在校生に向けて「見据えることは大切だけど、見据えすぎると大変。目の前にあるものを大切にしてほしいです」と語った。

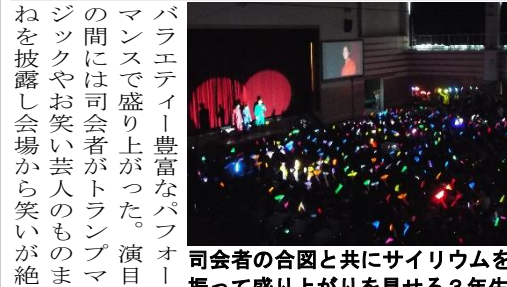


フットサル部、一部リーグ見事昇格

フットサル部が2月19日(日)東京都ユースフットサルU18の2部リーグで優勝し、2年ぶりの1部リーグへの昇格を決めた。今年度は強いクラブチームがおり、昇格できるか不安だったがフットサル部部長の成田智一くん(2I)は話す。試合は0対0で引き分け、2部リーグでは優勝した。この試合は守りのみで攻めることができなかったため、攻めのバリエーションを増やすことが今後の目標だそう。最後に後輩が強いから張り合おうというので、頑張ったと、エールを送った。

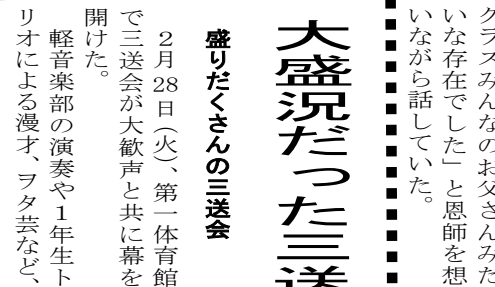
フットサル部が2月19日(日)東京都ユースフットサルU18の2部リーグで優勝し、2年ぶりの1部リーグへの昇格を決めた。今年度は強いクラブチームがおり、昇格できるか不安だったがフットサル部部長の成田智一くん(2I)は話す。試合は0対0で引き分け、2部リーグでは優勝した。この試合は守りのみで攻めることができなかったため、攻めのバリエーションを増やすことが今後の目標だそう。最後に後輩が強いから張り合おうというので、頑張ったと、エールを送った。

フットサル部が2月19日(日)東京都ユースフットサルU18の2部リーグで優勝し、2年ぶりの1部リーグへの昇格を決めた。今年度は強いクラブチームがおり、昇格できるか不安だったがフットサル部部長の成田智一くん(2I)は話す。試合は0対0で引き分け、2部リーグでは優勝した。この試合は守りのみで攻めることができなかったため、攻めのバリエーションを増やすことが今後の目標だそう。最後に後輩が強いから張り合おうというので、頑張ったと、エールを送った。



実力差に衝撃を受けたと白濱くん

東京都選抜は白濱くん以外。白濱くんは、2月25日(土)に山梨県で開かれた関東大会に出場した。東京都選抜は白濱くん以外。白濱くんは、2月25日(土)に山梨県で開かれた関東大会に出場した。東京都選抜は白濱くん以外。白濱くんは、2月25日(土)に山梨県で開かれた関東大会に出場した。



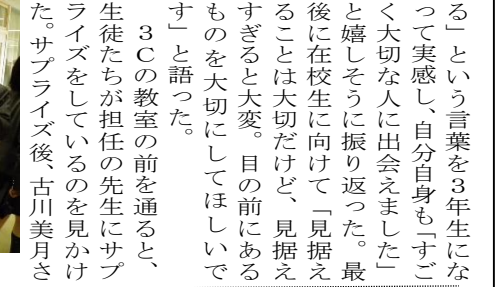
クラスメートと記念撮影をする

大盛況だった三送会&52回生記念品。盛りだくさんの三送会。2月28日(火)、第一体育館で三送会が大歓声と共に幕を開けた。軽音楽部の演奏や1年生トリオによる漫才、ラタ芸など、盛りだくさんの三送会。2月28日(火)、第一体育館で三送会が大歓声と共に幕を開けた。軽音楽部の演奏や1年生トリオによる漫才、ラタ芸など、盛りだくさんの三送会。



卒業証書を手を笑顔の卒業生

担任の田中先生にサブライズの感想を聞くと「嬉しかったに決まっています」と微笑みながら振り返る。生徒達の顔を見ていると泣けてきてしまったそう。卒業式で卒業記念品目録を贈呈した三井桃子さん(3J)は「目録」を書道で手書きした。



満員のホールでキラのあるダンスを披露するダンス部

ダンス部 心を熱くするウィンターステージ。2月25日(土)、ダンス部のウィンターステージが多目的ホールで行われた。多くの保護者や友人が詰めかけ、満員のホールには立ち見客が出るほどであった。和楽器の軽快な音楽に乗り始めたオープニングでは、2年生による「くの一」をイメージした和風のガールズヒップホップが披露された。総勢20人の迫力あるダンスに、観客は一気に盛り上がる。その後のグループ発表では、1年生からヒップホップ、ガールズ、ロックが順に行われ、1年生とは思えないほどの堂々とした踊りで観客を沸かせた。続いて踊ったKBZは1年生が多いながらもブレイクの大技を次々と決め、観客からはその度に拍手が起きた。1年生大会ではマリオの音楽に合わせて、ゲーム内のキャラクターをイメージしたという赤と緑の衣装をまとってヒップホップを披露。2年生の部はジャズ、ロック、ガールズヒップホップ、R&Bの順でのグループ発表が行われたが、メンバー全員の息が合った振りや、曲によって変化する表情などで会場の目を釘付けにさせた。パステルカラーのフレアワンピースやモノクロを基調にしたものなど、各グループ曲に合わせて工夫された衣装も観客の目を楽しませていた。最後に行われた定番のスローでも、赤のワンピースでしっとりとした美しさで魅了した。ステージの最後は、緩いパーカーを着た部員が全員でエンディングをエネルギッシュに踊り、会場を大いに沸かせて占めた。

今年度の記念品は「ピアノ」。52回生から贈られた記念品はアップライトピアノだ。記念品はPTAと学校での話し合いで決まる。学年主任の佐藤淳先生は「3年生を送るために生徒会や多くの在校生、先生方が動いてくれた。3年生にはそんな裏で準備をする人たちの気持ちを感じ取ってほしい」と話してくれた。

むらさき草。錦城の図書室に、なんともいえない表情のくまが目をひく絵本があった。題名は「どいったん」。帽子をなくしたくまが、いろいろな動物に出会いながら帽子を見つけたという話だ。その隣には「WANT MY HAT BACK」という絵本があった。「どいったん」の英語の原文は2つを読み比べると、英語と日本語の表現の違いが面白い。原文では、くまは出会った動物に「Thank you anyway」と別れていくが、翻訳本では「おおきに、もういっぺん」に「もうええわ」とその場の雰囲気や言葉が変わる。作者のジョン・クラッセンさんの文章はシンプルだが、率直な言い回しで面白く読み手の想像が膨らむ。翻訳者の長谷川義典さんは、ユーモアある関西弁を使い、おとぼけ感がよく伝わる。カナダ人の落語家、桂三輝(サンシャイン)さんをご存知だろうか。初めて落語を聞いたとき「日本人でなくとも笑える。英語にしたら受ける」と思い、落語家になったそう。彼の落語の一つにこんな話がある。三輝さんは石鹸を買いに行くのだが、上手く「せけん」と発音できず店員に伝わらない。最終的に何とか見つけて、これはなんと言った、完璧な日本語で教えてくれた。これに「ハンドソープ」だ、と言われ、私に英語を教えてくれたらありかと、と皮肉を言って話は終わる。この落語はすべて英語だが、最後の「ハンドソープ」をわざと日本語で話したというやり方や彼の驚いた表情、しぐさがお客に想像させ、英語が分からなくても笑うことができる。絵本の読み比べで感じたように、言葉の違いはそれぞれの表現が通じ合うこともある。この春それぞれが新しいステージへ進んでいく。自分が触れたことのない言葉や文化を知り、チャレンジすることで面白い発見があるはずだ。

ダンス部 心を熱くするウィンターステージ。2月25日(土)、ダンス部のウィンターステージが多目的ホールで行われた。多くの保護者や友人が詰めかけ、満員のホールには立ち見客が出るほどであった。和楽器の軽快な音楽に乗り始めたオープニングでは、2年生による「くの一」をイメージした和風のガールズヒップホップが披露された。総勢20人の迫力あるダンスに、観客は一気に盛り上がる。その後のグループ発表では、1年生からヒップホップ、ガールズ、ロックが順に行われ、1年生とは思えないほどの堂々とした踊りで観客を沸かせた。続いて踊ったKBZは1年生が多いながらもブレイクの大技を次々と決め、観客からはその度に拍手が起きた。1年生大会ではマリオの音楽に合わせて、ゲーム内のキャラクターをイメージしたという赤と緑の衣装をまとってヒップホップを披露。2年生の部はジャズ、ロック、ガールズヒップホップ、R&Bの順でのグループ発表が行われたが、メンバー全員の息が合った振りや、曲によって変化する表情などで会場の目を釘付けにさせた。パステルカラーのフレアワンピースやモノクロを基調にしたものなど、各グループ曲に合わせて工夫された衣装も観客の目を楽しませていた。最後に行われた定番のスローでも、赤のワンピースでしっとりとした美しさで魅了した。ステージの最後は、緩いパーカーを着た部員が全員でエンディングをエネルギッシュに踊り、会場を大いに沸かせて占めた。

ダンス部 心を熱くするウィンターステージ。2月25日(土)、ダンス部のウィンターステージが多目的ホールで行われた。多くの保護者や友人が詰めかけ、満員のホールには立ち見客が出るほどであった。和楽器の軽快な音楽に乗り始めたオープニングでは、2年生による「くの一」をイメージした和風のガールズヒップホップが披露された。総勢20人の迫力あるダンスに、観客は一気に盛り上がる。その後のグループ発表では、1年生からヒップホップ、ガールズ、ロックが順に行われ、1年生とは思えないほどの堂々とした踊りで観客を沸かせた。続いて踊ったKBZは1年生が多いながらもブレイクの大技を次々と決め、観客からはその度に拍手が起きた。1年生大会ではマリオの音楽に合わせて、ゲーム内のキャラクターをイメージしたという赤と緑の衣装をまとってヒップホップを披露。2年生の部はジャズ、ロック、ガールズヒップホップ、R&Bの順でのグループ発表が行われたが、メンバー全員の息が合った振りや、曲によって変化する表情などで会場の目を釘付けにさせた。パステルカラーのフレアワンピースやモノクロを基調にしたものなど、各グループ曲に合わせて工夫された衣装も観客の目を楽しませていた。最後に行われた定番のスローでも、赤のワンピースでしっとりとした美しさで魅了した。ステージの最後は、緩いパーカーを着た部員が全員でエンディングをエネルギッシュに踊り、会場を大いに沸かせて占めた。